

(1) 第50号

平成30年6月22日



社会福祉法人 吉備路の会



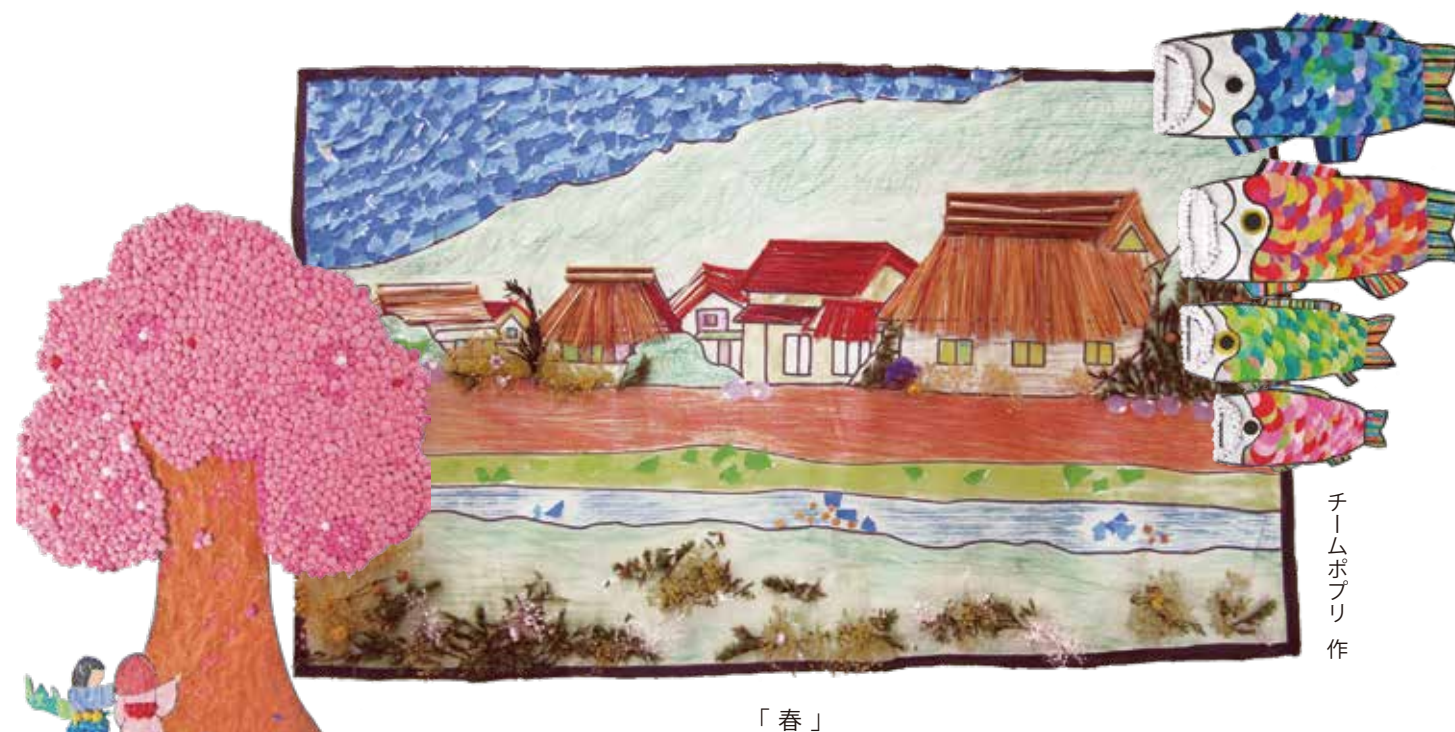
吉備路学園

第50号

平成30年6月22日 発行

発行

社会福祉法人 吉備路の会
吉備路学園
〒719-1155
岡山県総社市小寺1553番1
TEL (0866) 92-6580
<http://kibijigakuen.ecgo.jp>



チームポプリ作

「春」

人さまにお世話になったときには「ありがとう」
自分が悪いと思ったら「ごめんなさい」
朝、近所の人と会ったら「おはようございます」
皆様は、おじいさんやおばあさんからどのように言
われてお育ちになったでしょう。
我々は、「感謝と謙虚な態度」を忘れてはいけませ
ん。日々、折々に言わせていく必要があると思
います。単純な、しかも大切な言葉の繰り返し、祖
父母の言葉の中に取り入りました。母やおばあさんの生
活態度の中に、日本人らしい宗教観がありました。
仏様の教えは日々の実践であります。母や祖父母の
生活態度を思い出し、如何に苦勞して育ててくれた
のか、その生活態度の中に教えがあると思うと美に
あがたいことだと思います。そのような言葉が、しみ
じみと実感できることがあります。
それぞれの地域での生活を支援していく中で是非
利用者の方々に「ありがとう」「ごめんなさい」「おは
ようございます」そして「もったいない」の実践を伝え
ていただければと思います。暖かい言葉は何よりの
「助け合い」に繋がります。
そして、利用者、支援員の一人ひとりが礼儀正しく、
思いやりの心を持っていれば周囲の人たちに喜ばれ
人情味あふれる暮らしが実現することでしょう。

『言葉の大切さ』

統括施設長 小原 章弘



(4) 第50号

平成30年6月22日

吉備路学園 自治会活動



◆親子旅行◆
9月 愛媛にて



◆ポプリグループ外出◆
4月 緑山にて



◆クリスマス会◆
12月 サンピア岡山総社にて



◆ひまわりグループ外出◆
1月 初詣にて



◆なのはなグループ外出◆
6月 備前にて



◆すずらんグループ外出◆
9月 渋川にて



◆ローズグループ外出◆
5月 安富牧場にて

すずらんグループ 一年を振り返って

支援員 高原 まさ美

平成二十九年度は利用者十一名ですずらんグループをスタートしました。日課は午前中、散歩・ボール投げ等、運動を中心に個別支援を行いました。午後からは軽作業・個別入浴・ドライブなどの活動を行いました。活動中はオルゴールの曲を流しながらゆったりとした空間作りを行い、会話をしながら軽作業等の取り組みを行いました。個々に選んでもらい、塗り絵・シール貼り・ラベラー剥がし等利用者が好みそうな作業を行ってきました。利用者それぞれ興味は違いますが出来る作業を行っています。個別支援として個別入浴・歯磨き支援・足浴など、ゆったりと過ごして頂けるよう行ってきました。

今後も利用者が安心・安全に過ごせるよう日々のバイタルチェック・排泄確認・表情などの様子観察をし、随時必要に応じた対応を行っていきたいと思います。

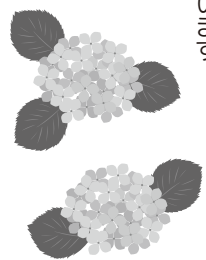
なのはなグループ 一年間を振り返って

支援員 延吉 彦志

平成二十九年度は、利用者十名でスタートしました。五月に二名、七月に一名の利用者が新たに仲間入りし、計十二名になりました。年度途中、体調を崩し入院したされた利用

者の方もいらつしやいましたが、今では学園に戻つてこれ、共に生活をしています。又、高齢の利用者中心のグループである為、体力、年齢に配慮した上での個別支援に取り組んできました。年々進む高齢化によって様々なサポートが必要になってきております。

今後も、利用者が安心・安全に過ごして頂けるように、日々の健康管理・特に利用者の方々の表情を見ながら、その時の状況に合わせて対応していきたいと思っています。笑顔の絶えない吉備路学園であり、日々利用者に寄り添える支援を行っていきたいと思います。



ローズグループ 一年間を振り返って

支援員 牧野 隆久

ローズグループでは、日課の中で軍手作業を中心とした生産活動に取り組みました。また、利用者さんのニーズに応じて、ヒース通し、機能訓練も行いました。毎日のラジオ体操やエアロバイク、園外に出てのボール遊びや長縄跳び等、体を動かす時間も大切にしました。ゆとりの

時間には塗り絵やDVD鑑賞をし、グループ外出では動物園、プラネタリウム、カラオケ店等に行き、楽しい時間を過ごすことができました。どの利用者さんも作業場に来ることを楽しみにされ、毎日元気に頑張っています。来年度も健康で充実した生活を送ってもらえるよう、引き続き支援していきたいと思っています。

ひまわりグループ 一年を振り返って

支援員 宮西 明恵

昨年を振り返ると、作業場でのトラブルが続く「どうしようかな」と悩みながら過ごすこともありましたが、席替えをすることで何とか落ち着きを取り戻すことができました。また、外出での食事や作業場でのおやつ作りなど、充実した楽しい時間を過ごすこともできました。これからも、色々みんなで楽しいことを計画して、笑顔あるグループ作りができればと思います。

みぞくち・ 平成二十九年度の 振り返り

管理者 延原 良純

就労Bでは、作業工賃の一割増を掲げて、皆さん頑張りました。今年度の工賃時給は一割増しとして毎月支給できましたが、年度末の一時金

平成二十九年度を 振り返って

管理栄養士 林 裕子

昨年度は、利用者の方全員の食事形態の見直しを行いました。咀嚼・嚥下・早食い・掻き込みなど様々な要因から危険箇所を抽出し、看護師・支援員と検討を進めました。食事形態の見直しは利用者の方に適した食事提供が出来るのかを判断する材料となります。その為、今後も利用者の方の食事の様子を確認しながらその都度検討を行い、安心・安全な食事を召し上がって頂けるように配慮していきます。

その他の昨年度の取り組みとして、利用者の方に非常時の為に備蓄している食糧の理解を深めてもらうために、備蓄用のパンやカレー、牛丼の提供を行いました。普段の提供している食事に比べて味や食感が異なるものもありましたが、喜んで召し上がられる利用者の方が多かったです。また、パンは缶に入っているものを自分で開けて食べる体験をして頂いたことで、備蓄食糧をより近く感じて頂けるきっかけが出来たのではないかと思います。今後も食事の中で備蓄食糧の提供を行い、さらに理解を深めて頂きたいと思っています。

医務での

昨年度のこと 今後のこと・

看護師 森岡 敦子

全般的に落ち着いた一年でした。最近では、排便コントロールの悪い方が多くみられ合併症の事と高齢化も踏まえ、排便チェック・水分等を気を付けて、今後早めの的確な治療と受診を心掛け体調管理に気をつけていこうと思います。



寄付・寄贈・ ボランティア協力

平成二十九年十一月一日、

平成三十年三月三十一日

〈敬称略 順不同〉

《寄付》

薬師寺主明 横溝青果

中央良糧(株) 三備石油(株)

(有) まるみ麺本店

(株) 山陽フードサービス

総社市手をつなぐ育成会 藤井高志

総社市地域連絡協議会

総社市総社地区社会福祉協議会

鈴木洋子

総社市阿曾地区社会福祉協議会

吉備路学園家族会

社会福祉法人吉備路の会後援会

では前年度を下回る支給額となつてしまいました。原因は前年度のスポット作業で得られた収益が前年度工賃支給総額を大きく押し上げたためと考えられます。今後も毎年時給額を増やしていきたいですが、安定した収益増となるよう、更なる工夫が必要であると感じています。

生活介護では、より細かな支援ができるよう小グループの活動を実施しました。マンツーマンでの外出や個々に合った取組の推進など、利用者お一人おひとりの個性に合った活動になったと感じています。今後より一層個性が光る活動となるよう、精進したいと思っています。



グループホームに 異動して

支援員 岡室 貴子

グループホームに異動して一年が経ちました。今まで仕事をしていた入所施設とは違い、利用者さんの人数は四分の一以下で、ほぼ自立出来ている方々の中にはおられます。

地域活動では、近隣住民の方との交流を深める為月一回地域の清掃活動

《寄贈》

高見一雄 西日本クミカル

樋口芳泉園 香川銀行 小西二生

《ボランティア》

ヘアユニットリーラ

高田翔太



新任・退職のおしらせ

平成二十九年十一月一日、

平成三十年三月三十一日

この度は、新任・退職の変動はございました。

編集後記

平成三十年度がスタートしてはや二カ月が過ぎようとしています。寒暖差が激しい時期もあり体調管理が難しかった方もたくさんおられた様と思います。そんな時期もようやく過ぎたんだんと初夏を感じる季節になってきました。気象庁の予報では今年の西日本太平洋側の平均気温は高い見込みと発表されていますので、熱中症などに気を付けて支援を行っていききたいと思います。

本年度も職員一同、よりよい施設を目指して頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。